

ジョイント・メディアリリース

日本アンチ・ドーピング機構 (JADA)、世界アンチ・ドーピング機構 (WADA)、および
日本製薬団体連合会 (FPMAJ) 共同宣言
「アンチ・ドーピング活動を推進しスポーツの価値を守り育む」
調印式を開催

2013年6月26日、JADA、WADA、日本製薬団体連合会 (FPMAJ) の三者により、スポーツの価値を守るための活動を共同で推進することを目的とした、共同宣言の調印式が執り行われました。

本共同宣言は、ドーピング問題がパブリックヘルスに関する重大な社会的課題であるとの認識を共有し、これに関する対策を講じることにより、スポーツの完全性を保証し、公正・公平なスポーツの発展に寄与することを目的としています。



左から： JADA 鈴木秀典会長、FPMAJ 内藤晴夫会長、WADA アジア・オセアニア地域オフィス林和弘所長

福井照文部科学副大臣、日本スポーツ振興センター河野一郎理事長のご臨席のもと、JADA 会長鈴木秀典、WADA アジア・オセアニア地域オフィス所長林和弘、FPMAJ 会長内藤晴夫、の三者により、「アンチ・ドーピング活動を推進しスポーツの価値を守り育む」と冠する共同宣言への調印が発表されました。

調印式では、WADA 常任理事を務める福井文部科学副大臣より、「日本アンチ・ドーピング機構、世界アンチ・ドーピング機構、日本製薬団体連合会が、世界各国に先駆けて、ドーピング防止活動を推進するための共同宣言を行うことは、我が国のみならず、国際的なドーピング防止活動の推進に極めて意義深いことであり、三者の御尽力に心から敬意を表したい」というご挨拶を頂きました。

また、WADA 事務局長デービッド・ハウマン氏 (Mr. David Howman)よりビデオメッセージにて、「JADA と FPMAJ と本共同宣言を締結することで、ドーピング防止に向けて協働関係を構築することができ、とても嬉しく思います。ドーピングとして悪用されるような薬の不正使用や乱用に対して効果的に対策を講じていくことのみならず、禁止物質の検出方法への研究・開発の促進という観点からも、このパートナーシップを結ぶこと



は重要な意味があるといえます。本共同宣言によって、我われの“win-win”な協働関係を生み出し、今後も長期的な関係を築いていきたいと思ひます」というメッセージが寄せられました。

昨今、スポーツにおけるドーピングは、スポーツ固有の問題ではなく、パブリックヘルスに係る問題としての認識が広まりつつあります。それを受け、2010年7月にWADAとIFPMA（国際製薬団体連合）が最新のドーピング手法と戦うために協力関係を結び、相互の専門領域を最大限に活かすことを目的とした『スポーツにおけるドーピング防止活動に向けての協力に関する共同宣言(Joint Declaration on Cooperation in the Fight against Doping in Sport today in Lausanne, Switzerland)』を締結しました。効果的なドーピング防止対策の実施のため、スポーツ界と製薬業界そして政府の相互的な連携が求められている状況において、国レベルの取り組みとしては、世界に先駆け、今回初めて日本で国内におけるドーピングの撲滅に向けた連携が実現したものです。

JADA 会長鈴木秀典より、本共同宣言が調印されるに至った背景について、「薬剤は国民の生活にとって欠かせないものになっておりますが、競技力向上を目的として不正に禁止物質や禁止方法を乱用するというのが、トップのアスリートのみならず、学生やアマチュアのアスリートにまで広がっているという現状が国際的にみられるようになってきているといわれています」という説明がありました。そして、「スポーツが社会的な財産であるということを鑑み、WADA と日本製薬団体連合会と専門性を共有することで、JADA は今後もスポーツの固有な価値を守り育てるための活動を推進していきます」と述べました。

FPMJ 会長内藤晴夫より、「我々製薬産業の使命は、医薬品の提供を通して患者様や生活者の皆様に希望をお届けすることにあります。その医薬品がドーピングのようなパブリックヘルスの問題となるということは大変遺憾であり、ドーピングとの戦いにおいて我々が有する情報や分析技術などを用いて貢献することができると考えております。日本製薬団体連合会として WADA と JADA と協働関係を構築し、ドーピング撲滅に向けた活動を推進していきます」という発言がありました。

今回、三者により調印された本共同宣言は、ドーピングに用いられる薬の乱用や誤用を防止し、パブリックヘルスを向上し、さらに真のスポーツ活動が展開され、スポーツを通して人や社会の発展に貢献するための自発的なものであり、医薬品及び開発段階にある化合物の適切な使用・管理を行うことを目的としています。本共同宣言を通して、三団体相互の連携を深め、公平性、公正性が維持されたスポーツのさらなる発展に寄与することを目的としています。



2013.6.26

【参照】

日本アンチ・ドーピング機構 (JADA)、世界アンチ・ドーピング機構 (WADA)、および

日本製薬団体連合会 (FPMAJ)

「アンチ・ドーピング活動を推進しスポーツの価値を守り育む」

共同宣言

序文

ドーピングは、不法な運動能力強化によってスポーツ競技の公平性に影響を及ぼすだけでなく、アスリートに、重大な健康上の被害を惹起する可能性を含んでいる。こうしたドーピングの脅威は、トップアスリートのみならず、学生やアマチュアのアスリートにまで及んでいる。

アンチ・ドーピング活動は、スポーツの本質にある価値を尊重し、全世界的に合意された共通のルールの下に、真のスポーツ活動が展開されるために必要不可欠なものである。さらにスポーツの中で育まれる価値観は、スポーツ以外の日常生活の様々な場面においても尊ばれる多様性に富んでおり、そのため、ドーピング問題はパブリックヘルスに関わる問題と認識されている。

スポーツ界におけるアンチ・ドーピング活動や一般市民レベルでのドーピングに用いられる薬の乱用や誤用を防止するための活動は、国内外の政府関係機関、各関係機関が協同し調和的な活動を展開することが求められている。

従って、これらの活動を有効に展開するため、医薬品の乱用や開発段階にある化合物の使用等を未然に防ぐための対策、および不正使用薬の検出に向けた研究・開発に関して、製薬業界とドーピング防止機関との緊密な関係を構築することが望まれる。このため世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) は、2010年7月に、製薬産業との連携を図るため国際製薬団体連合会 (IFPMA) との間で「スポーツにおけるドーピング防止活動に向けての協力に関する共同宣言」を調印した (日本製薬団体連合会 (FPMAJ) の加盟団体である日本製薬工業協会 (JPMA) は IFPMA の主要加盟協会である)。

範囲

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (以下、JADA) は、WADA、政府およびスポーツ界と密に連携し、人間の可能性を極限まで追求するスポーツの価値を守り育み、スポーツを通じた人や社会の発展を目的とし、真のチャンピオンが育つためにアンチ・ドーピング活動を推進している。

日本製薬団体連合会 (以下、FPMAJ) は、日本の製薬団体を束ねる連合会として、医薬品工業の健全なる発達並びに国民生活の向上に寄与することを目的としていることから、JADA および WADA と連携して、日本におけるアンチ・ドーピング活動を積極的に支援する。

世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) は JADA と FPMAJ の日本におけるアンチ・ドーピングの活動を支援する。

目的

JADA および WADA と FPMAJ は、ドーピング問題がパブリックヘルスに関する重大な社会的課題であるとの認識を共有し、これに関する対策を講じることにより、スポーツの完全性を保証し、公正・公平なスポーツの発展に寄与する。

FPMAJ に加盟する団体、およびその加盟企業は、自由意志により、ドーピングに用いられる可能性のある処方薬、一般用医薬品、および開発段階にある化合物などの不正使用の防止のため、これらの検出に必要な情報を提供するなど、JADA や WADA に対して以下のような協力を行う。

1. FPMAJ に加盟する団体、およびその加盟企業は、JPMA の加盟企業で既に WADA と直接協力関係にある場合又は意図する場合を除き JADA との間でドーピングとして乱用される可能性のある医薬品ならびに、開発段階にある化合物およびその検査方法に関わる情報に関し、双方に設置した連絡担当者を介して必要に応じて情報を共有する。ただし、知的財産および機密に関する情報は機密情報契約下のみで共有化され、書面による双方の合意なしに第三者とは共有しない。また、JADA は、秘密保持の原則に基づき、必要に応じて WADA と情報を共有する。
2. パブリックヘルスとしてのドーピング防止活動を推進するために、医薬品を扱う専門性を有する者や検査方法の研究・開発、また新薬開発等に携わる者、またはトップアスリートやアスリートのサポートスタッフに対し、JADA は WADA と協力してアンチ・ドーピングについての最新の情報および教育・啓発の機会を提供するとともに、FPMAJ および加盟団体はこれに支援・協力を行う。

ここに、アンチ・ドーピング活動を推進し、スポーツの価値を守り育むため、WADA、JADA および FPMAJ の協力体制の確立と推進を宣言する。